

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月26日

評価者	都市整備部長 森明彦
評価者	農業委員会事務局長 太田朋彦

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 6-(1) 産業振興	施策の方針	6-(1)-①農業・漁業の振興
目標とするまちの姿	就労環境の改善などにより新たな担い手や後継者の育成・確保が進むとともに、農水産物のブランド力向上や6次産業化への取組により、鎌倉ブランドの農水産物は市民だけでなく、鎌倉を訪れる観光客にも普及が進んでいます。		
主な取組	<p>(1) 農業環境の整備・保全 農業が安定的に営まれ、新たな担い手や後継者の育成・確保につながる都市農業の振興施策を推進します。また、市内で生産される野菜の地産地消に向けた取組や、農産物の鎌倉ブランドの認知度向上のための取組を推進します。 農業従事者が減少しても、「人・農地プラン」に掲載している農業者に農地を集積できるよう、農地中間管理事業を実施します。</p> <p>(2) 漁業環境の整備・保全 漁業が安定的に営まれ、新たな担い手や後継者の育成・確保につながる沿岸漁業の振興施策を推進するとともに、操業環境の整備を行います。 また、市内で水揚げされた魚介類の地産地消や6次産業化に向けた取組、水産物のブランド化を推進します。</p>		

1 成果指標

成果指標①	遊休農地面積(市街化調整区域及び生産緑地地区)					出典	鎌倉市農業委員会調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年度	ha	目標値	5.5	5.4	5.3	5.2	5.1	5.0	
5.6		実績値	6.6	6.2					
		達成率	83.3%	87.1%					
成果指標②	漁業従事者数(組合員数)					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年度	人	目標値	95	95	95	95	95	95	
95		実績値	90	92					
		達成率	94.7%	96.8%					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	68,262	41,495				
人件費	67,962	68,065				
総事業費	136,224	109,560				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

都市整備部

農地と消費地が近接している都市農業として、将来にわたり安定的に農業が営まれることを目指し、鎌倉農業振興地域整備計画に基づく農道整備や新たな担い手や後継者の育成・確保につながる振興施策を行った。

令和2年(2020年)3月に策定した「鎌倉市水産業振興計画」に基づき、漁港施設の維持管理・水産業が有する多面的機能の保全や就労環境の改善などの水産業の振興施策を進めた。

令和3年度は、正組合員が3名減少(2名は准組合員へ降格)したが、新たに3名が准組合員となったため、組合員全体数は増加した。

農業委員会事務局

利用状況調査により遊休農地を把握するとともに、鎌倉市遊休農地解消対策協議会で、新たな担い手への貸し借りへ結びつけるため、遊休農地解消に向けた復元作業を行った。

農産物の生産量及び市内での消費を高めるため、農地法違反の是正に向けて指導を行った。

(2)今後の方向性

都市整備部

農業の安定的な継続のため、さがみ農業協同組合等の関係団体や農業者と連携しながら、市民・観光客ともにニーズが高い「鎌倉やさい」のブランド力の強化を図る取組みを進めていく。

土地所有者が開設する市民農園の開設支援等を行い、市民に農業への親しみと理解を深める機会を提供する。

農道整備工事を着実に遂行し、農業生産基盤を整備することで、生産性の向上、農業経営の安定化につながる。

市民の食卓に地場の新鮮で安全な海産物が届けられるよう、地産地消や6次産業化に資する活動を推進するとともに、水産業が有する多面的機能の保全・鎌倉地域の漁業を安全で安定的に継続するための支援策や漁港施設の適正な維持管理を継続することで、漁業環境の整備・保全に努めていく。

農業委員会事務局

農地法その他の法令に定める農地の利用調整等を適切に行うとともに、農地利用状況調査等で把握した遊休農地の解消対策を進め、優良農地の確保とその有効利用を進めることで、農業が安定的に営まれるための農業環境の整備・保全に努めていく。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	農業-01	農業委員会事務		11,106	24,278	35,384	現状維持	A	現状維持
	都整-25	農業振興運営事業		3,174	9,104	12,278	現状維持	A	現状維持
	都整-26	市民農園事業		1,166	6,720	7,886	現状維持	A	現状維持
重	都整-27	農道整備事業		20,293	8,346	28,639	現状維持	A	現状維持
	都整-28	水産業振興運営事業		1,957	4,552	6,509	現状維持	A	現状維持
	都整-29	漁港施設管理事業		3,799	5,961	9,760	現状維持	A	現状維持
重	都整-30	鎌倉地域漁業支援施設整備事業		0	9,104	9,104	現状維持	A	現状維持

(4) 貢献度に関する分析

都市整備部長

農道整備事業は、農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るために、市の重点事業に位置づけ、着実な事業の推進を図っていることから、貢献度を「A」とした。
鎌倉地域漁業支援施設整備事業は、漁業支援施設を整備し、漁業者の就労環境の改善などに努めるため、市の重点事業に位置づけ、着実な事業の推進を図っていることから、貢献度を「A」とした。

農業委員会事務局

農業委員会事務局は、利用状況調査により遊休農地を把握するとともに、鎌倉市遊休農地解消対策協議会で、遊休農地解消に向けた復元作業を確実に実施することにより、遊休農地の解消につなげたことから貢献度の高い事業である。